

製品名: RNF20 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86011**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	113.7kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF20
別名	E3 ubiquitin-protein ligase BRE1A, BRE1-A, hBRE1, 632-, RING finger protein 20, RNF20, BRE1A
遺伝子 ID	56254.0
SwissProt ID	Q5VTR2
免疫原	この RNF20 抗体は、ヒト RNF20 の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されません。

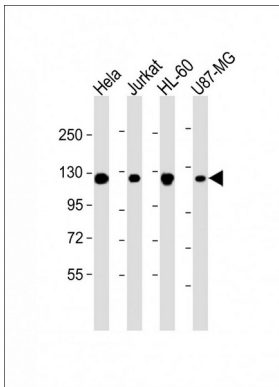
背景

RNF20/40 E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の構成要素であり、ヒストン H2B の「Lys-120」のモノユビキチン化 (H2BK120ub1) を媒介する。H2BK120ub1 は、エピジェネティックな転写活性化のための特異的タグを付与するだけでなく、ヒストン H3 の「Lys-4」および「Lys-79」のメチル化 (それぞれ H3K4me および H3K79me) の前提条件でもある。したがって、ヒストンコードおよび遺伝子制御において中心的な役割を果たす。RNF20/40 複合体は、E2 酵素 UBE2A または UBE2B と連携して H2B ユビキチンリガーゼ複合体を形成するが、UBE2E1/UBCH との連携に関する報告は矛盾している。Hox 遺伝子の転写活性化に必須である。おそらく p53/TP53 を介して MDM2 プロモーターにリクルートされ、転写コアクチベーターとして作用する。癌細胞において PA2G4 アイソフォーム 2 のポリユビキチン化を媒介し、プロテアソームを介した分解を促進する。

研究分野

-

画像データ



全レーン: 抗 RNF20 抗体 (1:2000 希釈)